

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

① 該当しないものを二重線で抹消

〇〇年〇〇月〇〇日

大分市長 殿

② 工場又は事業場ではなく、本社又は本店等の住所を記入する。電話番号も記す。個人の場合は、氏名又は名称及び代表者の氏名を記入し、押印する。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入し、社印及び代表者印を押印する。

届出者 大分市〇〇〇〇〇〇
株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 097-〇〇〇-〇〇〇〇
代表者印

大気汚染防止法~~第18条の23第1項~~（第18条の24第1項、~~第18条の25第1項~~）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工場	※	
工場又は事業場の所在地	大分市〇〇〇	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	1 小型石炭混焼ボイラー	※	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。	※	
参考事項			

③ 水銀排出施設が設置される（されている）工場名等を記入する。

④ ③の住所を記入する。

⑤ 施行規則別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載。複数当てはまる場合は主たる目的のものを記入。

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。
 - 6 施行規則様式第2による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー	
名称及び型式		循環流動ボイラー ABC型	
設置年月日		平成10年 ○月 ○日	
着手予定年月日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	
規模	伝熱面積 (m ²)	3000	
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)	22000	
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg / h)		

すでに施設が設置されている場合に記入 (使用届、変更届)

届出に係る工事の着手年月日を記入 (設置届、変更届)

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

※別紙 1 ~ 3 共通
 変更届の場合には、変更前の内容と変更後の内容をそれぞれ明記する。
 例) 左の列に変更前の内容を、右の欄に変更後の内容を記入する 等

※ばい煙発生施設の届出受理書の写しを提出することで、様式第3の5別紙1~3の全部又は一部を省略できる

水銀排出施設の使用の方法

断続的に使用する場合には、1回の時間、1日の回数等を記入する。

		1号ボイラー			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～ 24時 時間/回 回/日 28日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動	通年			
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類				
	使用割合				
	原材料中の水銀等含有割合				
	1日の使用量				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	石炭			
	燃料中の水銀等の含有割合	0.01mg/kg			
	通常の使用量	500t/日			
	混焼割合	石炭 100%			
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 340000	通常 315000	最大
		乾き	最大 280000	通常 260000	
排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3			
水銀濃度 (μg / Nm ³)	全水銀	0.34 μg / Nm³			
	ガス状水銀	0.3 μg / Nm³			
	粒子状水銀	0.04 μg / Nm³			
参考事項					

成分割合の記載は、重量比 (%) 又は容量比 (%) の別を明らかにする。

代表値や平均値を記載すること (幅記載でも可)

酸素濃度は原則として排出口での値を記入

・乾き排ガス中の濃度 (平均的な濃度)。
 ・水銀等の処理施設がある場合は処理後の濃度
 ・設置の届出の時点で実測値が得られない場合は設計値等で可 (ただし定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出)

- 備考 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的
 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号			系統 1			
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号			1号ボイラー			
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式			ろ過式集じん機 BBB型			
設置年月日			〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日		
着手予定年月日			年 月 日	年 月 日		
使用開始予定年月日			年 月 日	年 月 日		
処理能力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 340000 通常 315000	最大	通常	
		乾き	最大 280000 通常 260000	最大	通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160°C			
		処理後	145°C			
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3%			
	水銀濃度 (µg / Nm ³)	全水銀	処理前	3.8 µg/N m ³	}	
			処理後	0.34 µg/N m ³		
		ガス状水銀	処理前	3.0 µg/N m ³		
			処理後	0.30 µg/N m ³		
		粒子状水銀	処理前	0.80 µg/N m ³		
			処理後	0.04 µg/N m ³		
	捕集効率 (%)	全水銀	91%			
ガス状水銀		90%				
粒子状水銀		95%				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		0時～24時 時間/回 回/日 28日/月			
	季節変動		通年			

施設の構造上の理由等により処理前の濃度の測定が不可能な場合は、処理前、捕集効率の欄は空欄で可

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理証の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。